

Innova Process Navigator V3.5

InnovaDesigner / InnovaFlow

Innova Process Navigator V3.5では、企業の全ての情報システムをビジネスプロセスに従って統合するための機能を大幅に強化し、業務遂行効率をさらに向上させることができます。また、業務の内部統制を、他の関連する情報システムも含めて対応できるように、業務統制プラットフォームとしての機能を強化しました。Webサービスだけでなく、Javaや.NETで開発されたプログラムも統合することで柔軟性がさらに向上しました。

ビジネスプロセスの可視化と改善

多くの企業では、業務ごとに業務パッケージなどの情報システムを導入しています。営業支援システムや販売管理システムや財務会計システムなどの情報システムを利用しながら、これらの業務の間は人間が繋いでいるといったのが実情です。業務全体を通してビジネスプロセスが定義されていないことが多く、どこで業務が滞留しているのかが分からなかったり、取引先企業との間での業務手順が変更になった場合などに、その対応がスムーズに行えなかったりします。

情報システムで実行している処理だけでなく、人が行っている業務や判断を業務全体に渡って可視化することがビジネスプロセスのモデリングの第一歩です。次にそれぞれの業務でかかっている人件費・外注費・通信費といったコストや処理にかかる時間や滞留時間を分析していきます。そして、業務手順を変更したり、担当する部署の変更などによって、コストの削減やスループットの向上がどの程度できるかをシミュレーションして、あるべきビジネスプロセスを策定していきます。業務遂行におけるボトルネックがどこにあるのかを原因究明しながら、試行錯誤で進めていく必要があります。

InnovaDesignerは、ビジネスプロセスの中のそれぞれの業務であるアクティビティに操作画面と組織モデル(組織、人、役職などの情報)とビジネスルール(業務ロジックだけでなく、分岐や実行の条件や情報システムとの連携などを記述したスクリプト)を割り付けることで、実行プログラムを自動生成します。

InnovaFlowは、これらの実行プログラムや他の関連したシステムのWebサービスやプログラムを自動実行するビジネスプロセスエンジンです。

InnovaFlowは、ビジネスプロセスのモデリングの時に設定した各アクティビティのコストや処理時間や滞留時間を測定し、レポートすることが可能です。またこれらの情報をベースにInnovaDesignerでシミュレーションを行って、ビジネスプロセスの改善を行っていきます。

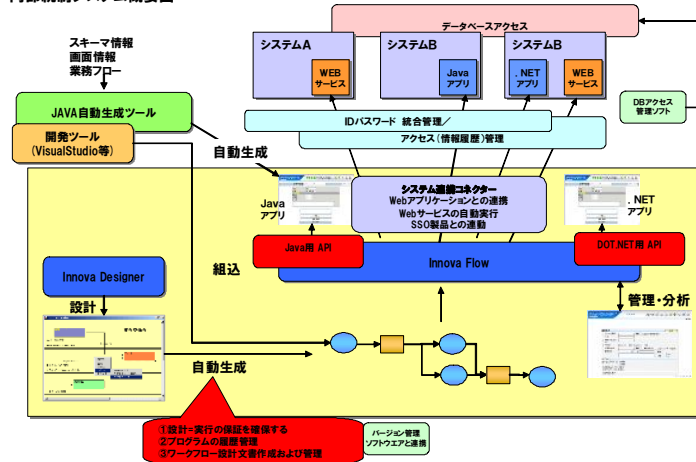
企業の全てのビジネスプロセスを統合

企業では様々な情報システムが稼働しており、ビジネスプロセスの観点から統合していく必要があります。ビジネスプロセスと完全に対応して情報システムを構築することが理想なのですが、これまで実現できていませんでした。ワークフロー製品をベースとした場合には、人が行う業務については問題ないのですが、業務ごとに稼働しているそれぞれの情報システムとの連携をすることが困難でした。

一方でEAI製品が拡張してきたBPMでは、情報システムの連携・統合は行えますが、人が行う業務まで融合することはできていません。

Innova Process Navigator V3.5は、全てのビジネスプロセスを統合して実行できる初めてのBPMソリューションです。画面アプリケーションもWebサービスも他の関連するシステムのプログラムもInnovaDesignerで自動生成されたプログラムも統合された環境で実行することができます。

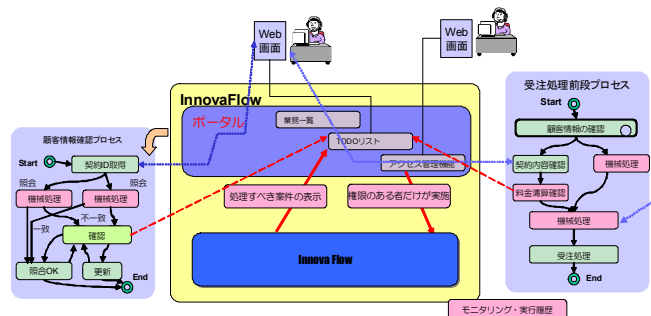
内部統制システム概要図



J-SOX後の内部統制の全体の仕組み

<InnovaFlowによる内部統制>
 TODOLISTには、**会社全体の業務からの処理依頼が 随時反映されます。**
 業種や月中等の案件管理をシステム化することにより、J-SOX対応による人手の省力化と改ざん防止を図ります。

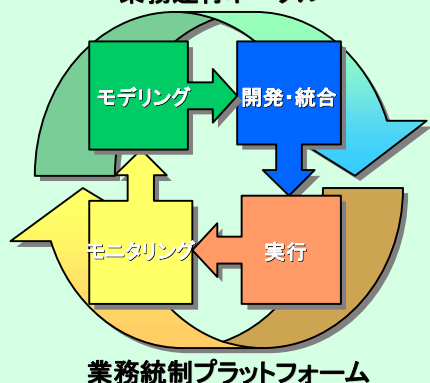
例えば、発注に関する異議、発注に伴う会計・支払処理への進捗状況を、インナーフローにより一元管理することにより、RCM上の処理漏れのコントロール、並びに案件進捗状況のモニタリングを強化することが可能です。



業務遂行効率の向上

企業の業務遂行においてボトルネックになっているのは、人が行う作業であるといえます。伝票で処理していた時には、伝票がどのように流れていくかでプロセスを可視化することができましたが、システム化が進んだ結果、プロセスが見にくくなり、全体の業務効率を落とすことになってきました。

業務遂行ポータル



ビジネスプロセスのモデリングと実行で、業務遂行支援と業務統制プラットフォームを実現

株式会社イノバのInnova Process Navigator V3.5はビジネスプロセスのモデリングツールであるInnovaDesignerとビジネスプロセスエンジンのInnovaFlowによって構成され、ビジネスのライフサイクル管理を実現できます。

InnovaDesignerは、ビジネスプロセスをモデリングし、コストや処理時間などをシミュレーションしてプロセスの改善を行います。組織モデルとビジネスルールを付加していくことによって、他の関連する情報システムとの連携を行える実行プログラムを自動生成することができます。

InnovaFlowはWebサービスやJava、.NETプログラムで開発されたプログラムをビジネスプロセスに従って起動しながら、業務を実行していきます。設定したKPIを自動で測定するとともに、実行履歴を取得しながら、業務全体をモニタリングすることで、他の関連する情報システムも含めて業務統制を行うことができます。

InnovaFlowは、案件やインシデント毎に生成されるビジネスプロセスについて、そのアクティビティを可視化します。人がクライアントにログインすれば、どの案件のどのアクティビティ(作業)を行う必要があるかの一覧が表示されるので、遅滞なく業務の遂行を行うことができます。企業において非正社員の増加や業務のアウトソーシングを進める中で、業務遂行効率の向上を行うことはこれからの企業の急務となっています。InnovaFlowを業務遂行ポータルとして、これまでの情報システムを再構成することができます。

内部統制への対応 人手の省力化と改ざん防止

日本版SOX法へ対応するために、企業では内部統制で必要とされる「業務記述書」「プロセス・フロー・チャート(PFC)」「リスク・コントロール・マトリックス(RCM)」「職務分離表」の文書を作成・管理しています。内部統制を確実に継続して運用していくためには大きなコストがかかるだけでなく、RCMで記述したコントロールの漏れも出てきます。

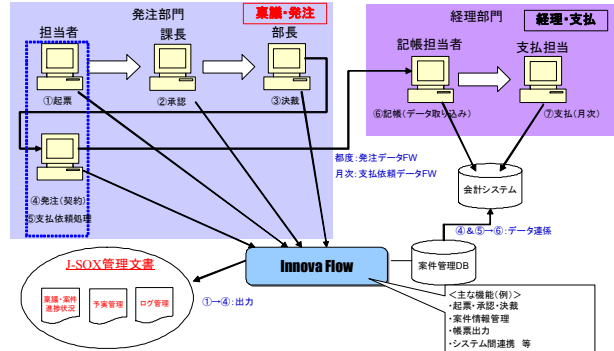
内部統制を進めるために人手による運用だけでなく、ビジネスプロセスをモニタリングして、自動化できるものは自動化していき、結局はコストの削減と業務効率の向上へとつながります。

内部統制のシステム化は膨大な投資が必要であると考えられていますが、統合BPMソリューションであるInnova Process Navigator V3.5によって段階的な導入をしながら効果を出していくことができます。

J-SOX後の内部統制の仕組みの実現例

<イノーバ・フローによる案件管理システム導入イメージ(例示)>

異議や中等の案件管理をシステム化することにより、J-SOX対応による人手の省力化と改ざん防止を図ります。例えば、発注に関する異議、発注に伴う会計・支払処理への進捗状況を、イノーバ・フローにより一元管理することにより、RCM上の処理漏れのコントロール、並びに案件進捗状況のモニタリングを強化することが可能です。



InnovaDesignerの主な機能

ビジネスプロセスのモデリング

マップ上に部門・役割のアクティビティを配置しながらプロセスマップを設計します。ビジネスロジックによってアクティビティを連結し、分岐・結合の組み合わせでルーティング(経路指定)ルールを定義します。

組織のモデリング

部門と役割を追加して新たな組織ストラクチャを作成します。人事システムから抽出した人事情報をバッチアドミンツールを使って、InnovaFlowユーザを作成・管理します。

innova Designer

シミュレーション

モデリングしたプロセスマップに、要員数、業務量、処理時間などを設定して、全体業務のシミュレーションを行うことができます。

各種マクロ

通常承認、代理承認、否認、引戻し、差戻し、保留、引上げ、バブルアップなどの機能があらかじめ実装されています。カレンダー、ファイル添付などのwebコントロールをフォームに配置して直感的に申請画面が作成ができます。

ビジネスルールの作成

詳細な処理条件や外部システムの連携処理などは豊富なAPIを利用して自由に機能を追加できます。

ウィザード

ウィザードでコンパイルするだけでASP.NETプログラムがセキュアな環境に自動生成されます。

Microsoft Excelとのインタフェース

担当者などからヒアリングして作成した業務内容を記述したExcelシートからプロセスマップを簡単に作成することができます。InnovaDesignerとExcelシートは双方向にデータ交換が可能です。

InnovaFlowの主な機能

ビジネスプロセス実行(新機能)

InnovaDesignerのウィザードで生成されたASP.NETプログラムや他システムのWebサービス、Javaプログラムをプロセスマップにしたがって実行します。ユーザはInnovaFlowにログインして、新しいプロセスを作成したり、ToDoリストに表示されている待ちタスクなどを処理していきます。

システム管理

システム管理者は、ユーザ管理、組織・役割管理、パスワードポリシー管理、イベントログ管理、管理者メッセージの送信などをGUI操作で行うことができます。

外部システムとの連携(新機能)

外部システムのプログラムからInnovaFlowエンジンに新しいプロセスを生成したり、プロセス情報の更新・参照を行うことができます。シングルサインオン(SSO)と組み合わせ、業務遂行のためのポータルを構築することができます。

innova Flow

業務統制のためのログ収集

ビジネスプロセスの各アクティビティについて、外部システムのプログラムも含めて、実行ログ(ユーザ名、日時、主要項目など)を収集していきます。業務統制に必要な証拠とすることができます。

統計情報収集

ビジネスプロセスが実行されると、自動的にトランザクション数(案件数)、待機時間、保留時間などを収集し、様々な条件でレポート出力することができます。

稼働環境

InnovaDesigner

ソフトウェア

- Microsoft Windows XP、Microsoft Windows 2003 Server またはそれ以上
- Microsoft Visual Studio(画面のレイアウト編集用)
- Microsoft Office 2000 またはそれ以上(アクティビティ情報の入出力)

ハードウェア

- Intel PentiumIII 500MHzまたはそれ以上のプロセッサ
- 最小512MBのメモリ
- 100MB以上の空きディスクスペース
- SVGA(1024X768)以上の解像度のディスプレイ

InnovaFlow

ソフトウェア

- Microsoft Windows 2003 Serverまたはそれ以上
- Microsoft Internet Information Server(IIS)
- Microsoft SQL Server 2005 またはそれ以上
- SMTPメールサーバへのインタフェースまたはFTPサーバ(自動メール送信機能で利用)
- Microsoft Internet Explorer 6 またはそれ以上

ハードウェア

- Intel PentiumIII 500MHzまたはそれ以上のプロセッサ
- 最小512MBのメモリ
- 100MB以上の空きディスクスペース
- SVGA(1024X768)以上の解像度のディスプレイ

サービス

ビジネスプロセスのモデリングと実行を支援するための各種サービスを提供しています。

業務改善コンサルティングサービス

ビジネスプロセスのモデリングや現状分析と業務分析のコンサルティングを行います。

開発支援サービス

他の情報システムとの連携やビジネスルールの開発の支援を行います。

教育サービス

製品の操作方法から、全体業務の構築方法に関する教育コースを提供しています。

製品サポートサービス

製品のバージョンアップや障害対応支援などのサポートを提供しています。

各種ビジネスプロセスのテンプレート

販売代理店から各種のビジネスプロセスのテンプレートを提供しています。各販売代理店にお問い合わせください。



開発元

株式会社イノーバ

〒102-0083

東京都千代田区麹町1-8-7 エミナビル

www.innova-bp.co.jp

◆Innova Process Navigator、InnovaDesigner、InnovaFlowはイノーバの登録商標です。他の会社名および製品名などはそれぞれ関係する企業の商標または登録商標です。◆製品の仕様は、事前の予告なしに変更する場合があります。◆このカタログの情報は2009年6月現在のものです。

販売代理店